

全道大会関係(監督連絡会議資料)

令和4年6月6日(月)

北海道高体連テニス専門部

下記の事項は、すべて5月27日に行われた「道高体連テニス専門委員会」で確認されたものです。

1【選手変更・登録順位変更等】

選手変更・登録順位変更については要項にあるとおりとする。その他は下記のとおりとする。

【個人戦のシード選手に変更が生じた場合】

- ① シード選手の変更がある場合は大会開始時まで対応するが、リドロー(組み合わせのやり直し)は行わない。
- ② 第1シードから第8シードの中で1本が欠場した場合は、欠場した選手のシードの場所に第9シードの選手が第9シードとして入り、そのために生じた空いた場所には、欠場した支部の選手がラッキールーザーとして入ることができる。
- ③ 第1シードから第4シードの中で2本以上が欠場した場合は、欠場した選手のシードの場所に下位のシード選手(第9シードの選手を含む)を詰めて移し、そのために生じた空いた場所には、欠場した支部の選手がラッキールーザーとして入ることができる。
- ④ 第1シードから第4シードの中で1本が欠場したのに加え、第5シードから第8シードの中で1本以上が欠場した場合は、第1シードから第4シードで欠場した選手のシードの場所に第9シードの選手が第9シードとして入り、そのために生じた空いた場所と他の空きシードの場所には、欠場した支部の選手がラッキールーザーとして入ることができる。
- ⑤ ダブルスにおいて、選手を組み替えての選手変更はできない。

【登録順位やオーダーの間違い】について

参加申込書の「登録順位や試合のオーダーに間違い」があったまま試合が行われた場合、**間違いの発覚が試合中である場合は、発覚した時点で該当校を失格とし相手校を勝者とする。試合が終了した後で発覚した場合、該当校は失格となるが間違いのある試合での敗者を勝者とすることはない。**

※ 試合中とは、オーダー用紙交換から試合終了の挨拶(握手)までを指す。

※ なお、この間違いの責任は全て、「**間違った登録順位やオーダーを提出した該当校が負う**」こととする。

※ 全道大会出場時の「個人戦シングルスの結果に応じた団体登録順位の変更」や「秋季大会での団体オーダー提出時(特にダブルス)」の際に起こりやすいので、注意が必要である。

【リタイア(RET・棄権)】について

ケガ、病気などの理由で試合をリタイアした場合、その時点で出場している種目(団体・個人戦ダブルス・個人戦シングルスのいずれかの種目)に限り、同一大会においては出場することはできないが、団体戦の試合が翌日まで続いている場合はその限りではない。

リタイア後は、その日に行われる同種目の代表決定戦や順位決定戦等への出場も不可とする。

2【試合における注意事項】

- ① ポイント間の時間は **25 秒**以内とする。（プレーが終わった瞬間から 25 秒以内に次のプレーを始めなければならない。）また、エンドチェンジの時間は 90 秒以内とする。（選手は 60 秒以内にベンチを離れ、90 秒以内に次のプレーを始めなければならない。）
- ② スコア表示の入れ替えは、1 ゲームが終わるごとに**選手**が行うこと。
- ③ スコアの誤りについては、SCU が間違いが確認できるポイントまでさかのぼり、正しいポイントで試合を再開する。
- ④ ミスジャッジに関する対応は、現行の「競技注意事項」どおりとする。
 - ※ 選手・監督は試合中の事実問題に対し、一切提訴することはできない。
 - ※ 選手は SCU のアナウンスを確認したうえで試合を始めなくてはならない。
 - ※ 各ゲームや試合の終了後は、スコアの訂正は一切行うことはできない。
- ⑤ ボールチェンジは、紛失または空気が抜けているもの以外は一切行わない。
 - ※ 紛失時は、1 球のみ紛失したものと同等のボール（使用済みのボール）を補充する。
- ⑥ 目に余る用具（ラケット・ボール等）の乱用が見られた場合は、その場で注意指導（確認）をしたうえで、試合終了後に選手・顧問に対して本部で指導を行う。
- ⑦ 試合中に相手の選手を威嚇挑発したり相手に不快感を与えるような言動を禁止する。（相手に向かってのガッツポーズや、相手に向かっての「カモン」等の言動を含む）
- ⑧ 校名札がついていない場合は、確認し次第（行われているポイント終了後）すぐに注意指導をし着用させる。違反ウェアに対しては、試合後に指導し、次の試合までの間に着替えさせる。
- ⑨ ウインドアップウェアを許可する場合は緊急避難的な状況なので、ロゴやウェアの生地については寛容な対応をとる。（チームウェアとしてのジャージは可）※ スウェットのパーカーはトレーナーとして認めない。
- ⑩ 長袖Tシャツ型は×、コンプレッションウェアは上下ともに○…ロゴの大きさに注意
- ⑪ 個人戦では、1 ゲーム後のベンチでの休息はできない。
- ⑫ **ベンチに入れる監督または登録選手のどちらか1名のみ。**
 - ※ 男女両方の監督が同一であり、同じ時間に試合が行われている場合は、本部に申し出て許可を得た上で引率責任者がベンチに入ることができる。
 - ※ ベンチコーチのプレー中の移動や、他のコートへの応援・コーチング等は厳に慎むこと。
- ⑬ メディカルタイムアウト（監督や他の選手による手当ては○、コーチングは×）
- ⑭ オムニコートのコート整備は必要に応じて行う。（試合ごとに整備することは不要）
- ⑮ 選手のジャッジのコールは大きな声で行う。
- ⑯ SCU のカウントアナウンスのタイミングは、ポイント終了直後が正しい。
- ⑰ 今大会では、ボールパーソンは付けることを妨げない。（選手1名に対して1名）
- ⑱ 日没による試合の中断は、原則として偶数ゲーム終了後とするが、状況を見て判断する。
- ⑲ 天候不良や不意の出来事による試合の中断は、その時行われているポイントで打ち切る。
 - ※ ラリーの途中で打ち切った場合は、そのポイントはレットとして扱う。
 - ※ 雨天で順延した場合、濡れたボールでもそのまま使用する。蓋を開けておくなどする。
 - ※ レフェリーが、日没や悪天候などにより試合中のコートの使用が難しいと判断した場合は、試合中であっても、ポイントの切れ目でコートを移動させて試合を継続させることがある
- ★⑳ 試合中に大声等、相手の選手や周囲の試合中の選手への配慮を欠く行為を禁止する。
- ㉑ 応援は拍手のみとする。

3【1日の試合数】について

一日の試合数は、シングルスのみの場合は7試合、ダブルスを2試合以上行う場合は8試合を最大とする。ただし、当該選手とその引率責任者の承諾がある場合は、試合を追加することができる。

4【試合と試合との間の休息】について

試合が連続する場合、3試合連続までは次の試合は『前の試合の終了時から10分以上あける』こととする。また、試合の間隔が短時間（10～15分程度）で、4試合連続となった場合は、当該選手の申し出により、食事をとるために『前の試合の終了時から30分以内』の休息をとることができる。

5【選手とSCUが同じ高校になる場合】について

選手とSCUが同じ高校になることは避ける。試合順やコートの変更で対応できない場合は、当番校または当番支部が別途準備をする。

6【応援における注意事項】

選手への応援は試合前練習時、及び試合中のポイント終了時から次のサービスのモーションに入る前までの間とする。※ サービスのモーションに入ってからからの応援は一切できない。

（応援は拍手のみ）

※ 必要に応じて、大会中ロービングアンパイアから注意指導をする。

- ① ファーストサービスとセカンドサービスの間の応援はできない。
- ② 試合をしている選手の集中力をそがないように配慮すること。
- ③ ダブルフォルトやミスショットに対する拍手はしないこと。
- ④ 隣コートへの状況に十分配慮すること。

7【開会式・表彰式等の服装】

- ・開会式は行わないが、6月7日の試合開始前に選手宣誓を行う。
- ・表彰式等の服装は、「チームウェア」または「テニスウェア」とし、「テニスシューズ」を履き、「脱帽」とする。ただし、チームウェアをそろえていない場合は、それに準じた服装でもよい。

8【全国大会への出場枠】

男子は、団体は1校・シングルス4本・ダブルス2本とする。

女子は、団体は1校・シングルス4本・ダブルス2本とする。

9【今大会の個人戦枠と団体戦出場校数の確認】

10【秋季団体戦について】

団体戦において、試合のなかったD2・S3選手について

第 62 回北海道高等学校テニス選手権大会に関する事項【試合の進行】

【試合進行等】

《専門委員会》 6月6日（月）11時からコートハウスの本部で行います。

《監督連絡会》 6月6日（月）の公式練習前に、職印のある申込書を提出し受付とする。その際、プリントで連絡事項を配布。質問、確認事項等があれば17時までに本部まで。

《開 会 式》 ※中止。6月7日の試合開始前に選手宣誓・開始宣言を放送で行う。

《SCU講習会》 6/6 公式練習に並行して3回、参加校は指定する。

6/7 個人戦ダブルスから出場者 13:00以降

6/8 個人戦シングルスのみ出場者 朝 8:40頃

（札幌支部テニス専門部・道専門部）

《試合進行》…できるだけ、当番校の生徒に活躍の場を与えて下さい。

- ① 試合進行係 男子 専門委員→ 種房 先生、 当番校→ 先生
女子 専門委員→ 竹内 先生、 当番校→ 先生

② 団体戦の試合進行について（1面・2面展開、D→S1→S2の順） ※ 待機方式をとらない。

- ・男子は1～8番コート、女子は9～18番コートを使用する。
- ・初戦の試合は1～2面展開、準々決勝以降はコートの空き状況に応じて3面展開で行う。
- ・初戦は、男子は試合番号1～4、女子は試合番号1～5を行う。

（SCUは第1～第4シード校、+1校）

★空いたコートで次の試合ができる場合は、挨拶を行いDの試合を行う。

- ※ この時のSCUは前の試合から引き続き行ってもらうこととし、前の試合の試合が終了後、ローピングアンパイアが立会いのもと試合の区切りの良いところ（1ゲーム終了後）で、敗者校が引き継いでSCUを行う。
- ・SCUは一つのチームが、一つの試合（D、S1、S2の3試合）を行うことを原則とする。
- ・準々決勝以降は勝敗が決定次第、打ち切りとする。

③ 団体戦は「SCUが本部でSCU用紙・ボールを受け取り、SCUが試合結果を本部に届ける。」

※ 試合を行う選手は、アナウンスに従いコートに直行する。

個人戦は「両選手が本部でSCU用紙・ボール等を受け取り、勝者が試合結果を本部に届ける。」

※ 敗者はコートに残り、次のSCUを行う。

④ 団体戦試合開始のときは、両校選手・監督はサーブラインに整列し、監督がオーダーに従って選手を紹介する。選手は互いに相手を確認し、試合の相手を間違えないように試合を開始する。

すべての試合が終了したら、もう一度開始時と同様に整列し、挨拶・握手をして終える。

各試合終了時は、両選手ともにSCUと感謝の気持ちを込めて握手をする終わること。

⑤ 団体戦で入る試合がなくなり次第、個人戦ダブルスを入れていくが、団体戦の試合が残っている選手の試合は行わない。 ※ 初日、個人戦ダブルスのNBを13時とする。

⑥ 個人戦ダブルスで入る試合がなくなり次第、個人戦シングルスを入れていくが、個人戦ダブルスの試合が残っている選手の試合は行わない。

⑦ 8ゲームマッチとなる試合の確認(全国大会出場をかけた試合)

(団体戦決勝・個人戦シングルスQF以降・個人戦ダブルスSF以降)

⑧ 前日に各種目が終了している場合は、次の日の朝に終了している種目の表彰を行う。

⑨ 天候等に問題がない場合、最終日は個人戦ベスト16からとする。

【組み合わせ抽選】

第 62 回北海道高等学校テニス選手権大会 組合せ抽選資料

1 シードの確認 ※直近（昨年 10 月）の全道大会の結果を参考にする

【男子団体】

03 年秋季 1 位 札幌光星 2 位 帯広北 3 位 海星学院 4 位 札幌藻岩

【女子団体】

03 年秋季 1 位 北星女子 2 位 札幌光星 3 位 立命館慶祥 4 位 札幌西

【男子シングルス】

03 年秋季 1 位（十勝）・2 位（十勝）・ベスト 4（札幌・室蘭）
ベスト 8（札幌 3・室蘭 1）

【男子ダブルス】

03 年秋季 1 位（十勝）・2 位（室蘭）・ベスト 4（札幌 2）
ベスト 8（札幌 3・室蘭 1）

【女子シングルス】

03 年秋季 1 位（札幌）・2 位（札幌）・ベスト 4（札幌 1・十勝 1）
ベスト 8（札幌 4）

【女子ダブルス】

03 年秋季 1 位（札幌）・2 位（札幌）・ベスト 4（札幌 1・十勝 1）
ベスト 8（札幌 4）

※ 個人戦は、第 1 シードから第 9 シードまで決めて、第 8 シードまで置く。

2 組合せ抽選の順

【団体戦】 ※ 初戦で同じ支部の出場校が当たらないことを確認しながらの抽選となる。

【個人戦】 ※ 初戦で同じ支部の出場校が当たらないことを確認しながらの抽選となる。

① 第 1 シード～第 8 シードを置く。（3～4、5～8 シードは抽選）

※ シード選手欠場時用として第 9 シードを決める。

② 左右と 4 象限を考慮して抽選を行なう。

③ 支部名を発表する。

④ 個人名を入れ提出。→PC 打ち込み

【団体戦の第1試合のオーダーオブプレー】 ※ 待機方式はとりません

《男子団体・ コート》

コート	1・2	3・4	5・6	7・8
第1試合	1 — (SCU・札幌光星)	2 — (SCU・帯広北)	3 — (SCU・海星学院)	4 — (SCU・北科大高)

《女子団体・ コート》

コート	9・10	11・12	13・14
第1試合	1 — (SCU・札幌光星)	2 — (SCU・6)	3 — (SCU・北星女子)

コート	15・16	17・18
第1試合	1 — (SCU・立命館)	2 — (SCU・北海)